

安全指導だより 10月号

令和6年10月16日(水)
西東京市立田無第四中学校
生活指導部 安全指導係

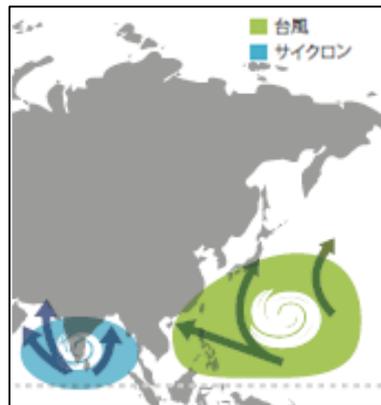
<日本と台風>

7月から10月は台風の発生が多くなる時期です。そんな台風について今回はお話しします。

そもそも、なぜ日本にはこんなに台風が接近するのか・・・皆さん知っていますか？もしかしたら、理科の授業などで話を聞いたことがあるかもしれません。JICE 国土技術研究センター Japan Institute of Geography and Engineering の調べによると、1951年から2021年までの71年間で、年平均26.1個の台風が発生しました。そして、平均11.5個の台風が日本に接近し、平均2.9個が上陸しました。なかでも2004年(平成16年)は、この71年間で最も多い19個の台風が日本に接近し、10個の台風が日本に上陸しました。

台風は上空の風に流されて動き、地球の自転の影響で北へ向かう性質をもっています。そのため、通常東風が吹いている低緯度では台風は西へ流されながら北上し、上空で強い偏西風が吹いている中・高緯度に来ると速い速度で北東へ進みます。このように、「西へ流されながら北上 → 速い速度で北東」という進路に日本があるので、台風が接近しやすいということです。

8月は1年間で最も多く台風が発生しますが、台風を流す上空の風が弱いために不安定な進路をとることが多いようです。9月になると、南から円をえがくように日本付近を通るようになります。このとき、あきさめぜんせん秋雨前線と一緒に大雨を降らせることがあります。



台風豆知識!

私たちが「台風」と呼んでいる熱帯低気圧は、世界の地域ごとにさまざまな呼び方をされています。日本をふくむ北西太平洋・アジアでは「台風」または「タイフーン」。アメリカなどでは「ハリケーン」、その他の地域では「サイクロン」と呼ばれています。

「マイ・タイムライン」をご存じでしょうか。2・3年生は1年生のときに配布されているはずですが、1年生は本日配布されます。マイ・タイムラインは住民一人一人の防災行動計画であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。※裏面のハザードマップも参考に。

右のQRコードで東京マイ・タイムライン作成ナビ(Youtube)にアクセスできます。マイ・タイムラインを作成し、いざというときの備えを家族と話し合っておけるといいですね。



自分でできる台風対策⑥

家の中の備え

- ① 非常用品の確認 懐中電灯・携帯用ラジオ・救急薬品・衣類・非常食品・貴重品・携帯ホンパ式コンロ等
- ② 室内からの安全対策 飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼り、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。
- ③ 水の確保 断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。

<落とし物のお知らせ> 落とし物ロッカーの場所: 校長室前

タオル・メガネ・ネクタイ・靴下・水泳のゴーグル・腕時計・ハンカチ・ノート・PCケース・軟膏・リップクリームなどあります。心当たりのある人は担任の先生に申し出ること。

※田無四中学区域周辺のハザードマップ

この図だけでは分かりにくいと思います。詳細は「西東京市 ハザードマップ」で検索してみましょう！

(西東京市 Web より)

西東京市浸水ハザードマップ(浸水予想区域図)は、東京都作成の「石神井川及び白子川流域浸水予想区域図(令和元年5月改定)」、「黒目川、落合川、柳瀬川、空堀川及び奈良橋川流域浸水予想区域図(令和元年12月改定)」を基に西東京市に関してまとめたもので、国が定める基準(平成27年7月17日国土交通省告示)における関東地域の値(総雨量690ミリメートル、時間最大雨量153ミリメートル)が「西東京市域」に降った場合を想定し作成しています。

地図面には、浸水区域や浸水深、避難所、避難行動判定フローなどを掲載し、情報面(裏面)には警戒レベルや西東京市のタイムライン(事前防災行動計画)、非常時の備えなどの情報を掲載しています。予想される浸水の区域と浸水深を表示していますが、浸水の予想される区域やその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化、河川や下水道の整備状況などにより変化することがありますのでご注意ください。

自宅の周辺地域の浸水予想区域等を確認し、近年各地で発生している風水害の備えや対策を講じて、被害を軽減できるよう活用してください。

